

# 防潮堤を勉強する会

## 気仙沼市長への質問(中)

一 防潮堤は何を守るために建設するのか。防潮堤の海側にあって良いものは何か。

レベル1防潮堤は、将来世代を含めて命と財産を守る。財産は個人の住宅だけではなく、市の社会資本と企業の産業設備も含む。財産は逃げることができず、レベル1津波たびに大きなダメージを受けるようでは、この地に産業が育たず、人々がどんどん離れ、まちとして成り立たなくなってしまう。

これまでの津波被害からは頑張って復讐され、一方で、港の使い

活してきたが、レベル2津波での被災を経験してからは心持ちが異なる。今回

は、氣仙沼以外ではレベル1堤防ができる。氣仙沼だけ丸腰で津波のダメージを受ければ、国は今回のような手厚い支援も出さずに見捨てると思う。激甚災害指

勝手は大事にしないといけない。海水浴場などの問題はなんとしても克服しなければならず、大谷は

は決められないが、魚市場や造船所は前にあって当然いい。

魚町の堤防の位置を下げるには、漁港区域の拡大が必要になる。何のために下げるのかという話

ではないとゴールに行き着かない。大きなポイントだが、国県とも簡単ではない。

市民の協力を得て一生懸命に戦いたい。市民の協力を得て一生懸命に戦いたい。

実際は選択している。国県を合わせると、レベル1は62力所、原形は26力所、造らないのは10力所。位置は今のところ前出しが32力所、そのままが35力所、引くのは3力所で25力所は未定だ。

## A 命と財産。まちの未来

### Q 守るものとは何か?

JRに線路を必ず動かさないように話している。守るのは浜によつて違うので工夫していただきたい。

2012年  
10月27日付

「三陸新報」3面